

# 平成 28 年 度 教 育 研 究 業 績 書

氏名 今津節生

最終学歴	青山学院大学大学院 博士後期課程 単位取得済み退学	
取得学位	博士（学術） 京都工芸繊維大学	
所属学会	日本文化財科学会（理事・評議員）、文化財保存修復学会、日本考古学協会、ICOM-WOAM（国際博物館会議 有機考古遺物保存部会）、東アジア文化遺産保存学会（副会長）	
専門分野	保存科学、文化財科学	
研究課題	文化財の保存・修復の研究、3D計測技術を活用した文化財の研究、文化財防災に関する研究	
授業科目	学部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財修復学</li> <li>・保存科学実習Ⅲ・Ⅳ</li> <li>・保存科学購読Ⅰ</li> <li>・保存科学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ</li> <li>・保存科学概論</li> </ul>
	大学院修士課程担当科目 （博士前期課程含）	・保存修復学演習Ⅰ・Ⅱ
	大学院博士後期課程担当科目	・保存修復学特殊研究Ⅰ・Ⅱ
	通信教育部担当科目	・文化財学演習Ⅲ
【研究上の特記事項】	科学研究費基盤研究（A） 『文化財科学における三次元デジタルデータの活用に関する総合的研究』（研究代表者）	
【教育上の特記事項】	3Dプリンタを文化財研究に導入して製作した複製品を活用し、触れる文化財を通して文化財研究の興味深さを学生に指導	
【社会的活動】	文化庁水中遺跡調査検討委員会委員、世界遺産 史跡三重津海軍所跡整備基本計画策定委員会委員、鷹島海底遺跡調査指導委員会保存部会委員、福岡県古賀市船原古墳調査指導委員会委員長、福岡県春日市文化財専門委員会委員、日本文化財科学会理事	
【学内活動】 (学内職歴を含む)	国際交流委員、歴史フォーラム委員	

研究業績[著書、学術論文等]				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
(学術論文)				
①The pre-conservation issues in the conservation of the wrecked ships and remains of the Mongol fleet from 1281,	共著	2016年5月	WET ORGANIC ARCHAEOLOGICAL MATERIALS CONFERENCE (Florence Italy)	沈没船の保存に向けた保存方法の研究 元寇沈没船の保存
②Resource saving by the help of an impregnation hybrid system based on solar thermal collectors aided by traditional electrical energy and by recycling of the trehalose impregnation solution in the long-term conservation of large waterlogged wooden finds,	共著	2016年5月	WET ORGANIC ARCHAEOLOGICAL MATERIALS CONFERENCE (Florence Italy)	太陽光加熱システムを用いた沈没船の保存方法の研究
③Condition diagnosis and 3D-data analysis of cultural property using X-ray CT at a Japanese museum	単著	2016年7月	ICOM 24TH GENERAL CONFERENCE MUSEUMS AND CULTURAL LANDSCAPES MILAN, ITALY	日本におけるX線CTスキャナを用いた文化財調査法の研究
④「水中遺跡と保存科学」	単著	2016年7月	『水中考古学』月刊文化財(7月号・634号)・「特集 水中遺跡の保護」文化庁	水中で発見される有機遺物の保存に関する研究
⑤「X線CTを用いた鋳型の構造調査」	単著	2016年7月	『春日市須玖タカウタ遺跡調査報告書3』福岡県春日市教育委員会	須玖タカウタ遺跡で発見された我が国最古の土製鋳型の構造研究
⑥「ファンボッセ号の鉄製イカリの防錆処理」	単著	2017年3月	『水中遺跡の保存活用に関する調査研究4』九州国立博物館	沈没船ファンボッセ号の錨の保存処理に関する研究
(学会発表)				
①「X線CTスキャナの活用による遺跡で発見される豊富な遺物情報を得る調査(Ⅲ)」	共著	2016年6月	日本文化財科学会第33回大会研究発表要旨集	CTを活用した研究事例報告 発掘調査への活用
②X線CT調査による古墳時代甲冑の分析」	共著	2016年6月	日本文化財科学会第33回大会研究発表要旨集	CTを活用した研究事例報告 甲冑研究への活用
③「中国戦国時代の青銅剣に対するX線CT調査」	共著	2016年6月	日本文化財科学会第33回大会研究発表要旨集	CTを活用した研究事例報告 中国青銅器の製作技術研究
④「X線CTスキャナを用いた国宝「初音の調度」の構造調査」	共著	2016年6月	日本文化財科学会第33回大会研究発表要旨集	CTを活用した研究事例報告 工芸品の製作技術研究
⑤「土井ヶ浜遺跡出土124号人骨のX線CTによる非破壊調査」	共著	2016年6月	日本文化財科学会第33回大会研究発表要旨集	CTを活用した研究事例報告 人骨に関する考古科学的研究

⑥「イオウ同位体比分析からみた出雲・石見地域における朱の特色」	共著	2016年6月	日本文化財科学会第33回大会研究発表要旨集	イオウ同位体比分析による朱の産地推定研究
⑦「出土木製品保存処理の省コスト・省エネルギー化に向けた研究（その3）」	共著	2016年6月	日本文化財科学会第33回大会研究発表要旨集	トレハロースを使った木材の保存方法開発
⑧「X線CTスキャナを用いた蒔絵硯箱の構造研究～「小倉山蒔絵硯箱」の構造調査」	共著	2016年6月	『文化財保存修復学会第33回大会研究発表要旨集』	CTを活用した研究事例報告 工芸品の製作技術の研究
⑨「西夏文書の保存修理に関する日中合作事業」	共著	2016年6月	『文化財保存修復学会第33回大会研究発表要旨集』	中国内モンゴル自治区で実施した文書の保存修復事例報告
⑩「博物館展示資料の加湿温風による殺虫処理について—山笠土台部材の処理事例—」	共著	2016年6月	『文化財保存修復学会第33回大会研究発表要旨集』	薬剤を使用しない殺虫による博物館の環境改善事例
⑪「冷凍庫を利用した木製クレートの予防的低温殺虫処理について」	共著	2016年6月	『文化財保存修復学会第33回大会研究発表要旨集』	薬剤を使用しない殺虫による博物館の環境改善事例
⑫「冷凍庫を利用した木製クレートの予防的低温殺虫処理について」	共著	2016年6月	『文化財保存修復学会第33回大会研究発表要旨集』	薬剤を使用しない殺虫による博物館の環境改善事例
⑬「X線CTによるアイヌ民族資料「ケマウシペ（行器）」の制作技法および劣化現況に関する調査」	共著	2016年6月	『文化財保存修復学会第33回大会研究発表要旨集』	CTを活用した研究事例報告 アイヌ文化の工芸品の製作技術研究
⑭「X線CTスキャナを用いた蒔絵硯箱の構造研究～「我宿蒔絵硯箱」の構造調査～」	共著	2016年6月	『文化財保存修復学会第33回大会研究発表要旨集』	CTを活用した研究事例報告 工芸品の製作技術研究
(その他)				
①The Trehalose Conservation Method of Archaeological Waterlogged Wood	単著	2016年7月	タイ芸術局パノムスリン沈没船保存研究セミナー	タイ国で発見された9世紀のペルシャ船の保存に関するトレハロースの活用
②「藤ノ木・勝負砂・船原古墳に見る有機物調査方法の発展」	単著	2016年7月	奈良県立橿原考古学研究所	CTを活用した発掘調査への活用事例についての研究報告
③「X線CTは文化財を探るタイムマシン」	単著	2016年10月	北海道平取町アイヌ博物館	CTを活用したアイヌの工芸資料調査の事例報告
④「X선 CT를 중심으로 한 문화재의 입체 구조 조사 및 건강 검진 (X線CTを核にした文化財の三次元構造調査と健康診断)」	単著	2016年10月	韓国文化財保存科学会	博物館におけるCTを活用した研究の重要性について講演
⑤「科学が解き明かす卑弥呼の時代」	単著	2016年11月	平城ニュータウン	文化財科学の研究成果から見た邪馬台国研究の現状
⑥「鷹島沖海底出土遺物を科学する-海底から引き上げた遺物の保存と課題-」	単著	2016年11月	「元寇の島鷹島を水中考古学の拠点へ」長崎県松浦市教育委員会	元寇沈没船を保存するための課題
⑦「阿修羅の健康診断」	単著	2016年12月	『奈良大学世界遺産講座』	CTを活用した研究事例報告として阿修羅像の解析結果を紹介
⑧「X線CTで探る阿修羅像の修理歴」	単著	2016年2月	『興福寺シンポジウム』有楽町朝日ホール	CTを活用した研究事例報告として阿修羅像の解析結果と過去の修復履歴を紹介